

Gemini 3.8 Flash & 3.8 Flash Cyber：次世代AIエージェントの革新と選択基準

2026年9月に発表されたGemini 3.8 Flashは、単一の回答精度よりも「長時間、複雑なツール使用を伴うタスクを完遂する能力」に特化したモデルです。同時に発表された「3.8 Flash Cyber」は、防御者向けに特化し、特定の審査を通過した組織にのみ提供されるを極めて高いサイバー防御能力を備えています。

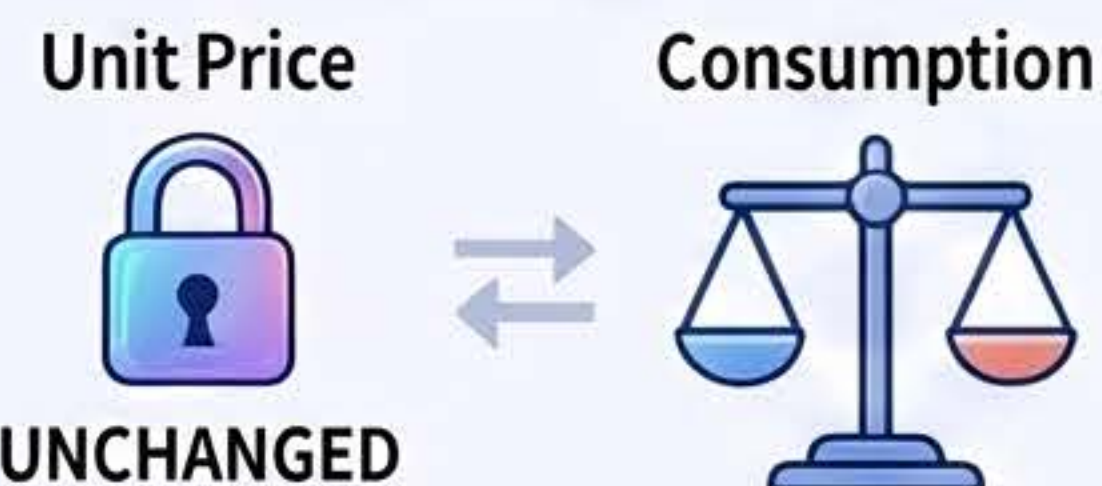
Gemini 3.8 Flash：長時間稼働エージェントへの最適化

「仕事を最後までやり遂げる」
エージェント性能



3.7世代と比較し、複数ステップのツール操作を伴うワークフローの完遂能力が大幅に向上。

トークン単価は維持、
ただし「消費量」は増加



3.7 Flashと同価格だが、精度向上に伴い内部機論トークン量が増えるため実効コストに注意が必要。

大規模コンテキストと強力なマルチモーダル



1M入力/64K出力を機軸し、コード実行やコンピュータ操作 (Preview) を低遅延帯で実現。



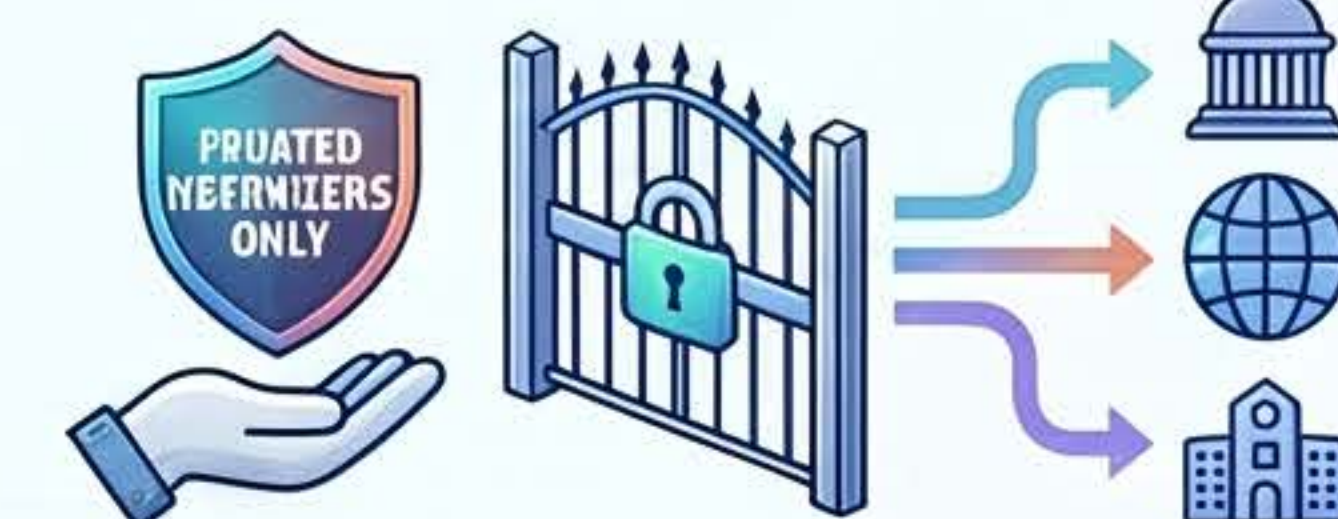
Gemini 3.8 Flash Cyber：防御者専用の専門能力

サイバー防御ベンチマークで
トップクラスを記録



CyberGym Pass@1で86.2%を達成し、
主要な競合モデルを上回る。

「Fairwind Program」による
厳格なガバナンス



審査制により、政府や重要インフラなどの
「信頼できる防御者」にのみ限定提供。



3.7 Flash → 3.8 Flash 性能向上幅 (ポイント)



脆弱性発見から自動修正 (Patch) への展開

